

.....編集後記.....

◇年も改まって1990年代に入りました。今月号から、目立たない点ですが、内容やレイアウトを若干変更しました。例えば、所外の著者の場合は所属の他に住所が脚注に明記されます。また、キーワードは当所で構築を進めている地質文献データベース GeoliS の入力の一助となるもので、地質調査所月報に先がけた試みです。当面1ページでスタートした「地質情報」の欄も、官報的にならないよう執筆陣の活躍を期待したいと思います。

◇今月号のグラビア第1ページを、阿蘇火山のストロノポリ式噴火をとらえた見事な写真で飾る事ができました。写真を提供して下さった京都大学阿蘇火山研究所の田中良和氏にお礼申し上げます。阿蘇火山の活動の近況については、次号に池辺伸一郎・渡辺一徳両氏の報告がグラビアと共に掲載されます。

◇先月号で予告した「読者の欄」がさっそく実現される事になりました。ニュージーランド・オタゴ大学の河内洋佑氏から昨年末いただいた地質ニュースへの手紙をここに掲載させていただきました。今後ともご意見等をお寄せくださるよう読者の皆様にお問い合わせ致します。

◇地質ニュースでは、3～4号に1号位の割合で特集を企画します。今後の予定として、「地殻物理学の現状と問題点(仮題)」(4月)、「地質標本館10周年(7月)」、「地震と地盤」(9月?)などがあります。これらの特集号でも、所外の方に一部執筆をお願いし、内容の充実を図りたいと思います。

◇古い写真を募集します。昔の調査風景などカビネ版位の写真に400～800字程度の記事を添えて下さい。

◇表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ～六切サイズのものに限りま

.....佐藤記.....

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字とし、句点(.)の次は1字あけて下さい。地質ニュースでは従来読点(,)を使っておりませんでした。今後は使用を認めます。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

地質ニュース編集委員会

■ 2月号予定目次 ■

阿蘇火山岳の最近の活動
 韓国の非金属鉱物資源(9)
 究極の地熱資源評価
 ウランと先端産業
 九州地域地質センターの未公表研究資料が語る戦中戦後史

地質ニュース編集委員会

委員長：小川克郎
 副委員長：鈴木尉元・佐藤興平
 幹事：黒田和男・三村弘二
 委員：三田直樹・岡村行信・尾上 亨・笹田政克・佐藤岱生・鈴木祐一郎・武居由之・山口 靖湯浅真人

事務局：総務部業務課広報係
 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
 地質ニュース編集委員会
 事務局 Tel. 0298-54-3520
 Fax. 0298-54-3533

地質ニュース 第425号 1990年1月号
 定価 ¥ 650 千実費
 1990年1月1日 発行
 編集 工業技術院地質調査所
 発行人 林 久 雄
 発行所 株式会社 実業公報社
 東京都千代田区九段南4の2の12
 〒 102
 Tel. (03)265-0951 (代表)
 振替口座 東京1-32466
 麹町局私書箱第21号
 総発売元 株式会社 実業公報社

©1990 Geological Survey of Japan
 ●本誌は東京都中央区橋八重州ブックセンター本店に常備してあります。